

業務仕様書（TOR）

インドネシア・日本人的資源パートナーシップサミット

「労働者から価値ある専門職へ：インドネシア・日本人材パートナーシップ」

1. 背景

戦略的背景

プラボウォ・スビアント大統領の質の高い尊厳ある海外熟練労働者配置政策の実施、および2025年大阪万博への公式参加に関連して、KawanStudyはインドネシア・日本人的資源パートナーシップサミットの開催を提案いたします。

失業対策への戦略的アプローチ

インドネシアの若年層失業の解決策は、可能な限り多くの労働者を海外に送り出すことなく、体系的な質と能力の向上にあります。このアプローチは、インドネシア専門職に大きな付加価値を与える持続可能なキャリアパスを創出し、同時に彼らを国際市場で価値ある人材として位置づけます。

プログラムの緊急性

日本の医療業界は高齢者人口の継続的増加と国内労働力の減少により、人口統計上の危機に直面しています。従来の外国人労働者採用アプローチは、専門職としての質とより良い労働条件に焦点を当て、労働者に明るい未来を提供するために改善が必要です。

戦略的機会

2億8,444万人の人口（中央年齢30.4歳）と高等教育参加率32%を持つインドネシアは、高品質の医療専門職を提供する大きな可能性を秘めています。技能向上と明確なキャリアパスを通じて、インドネシア専門職は尊厳ある持続可能なアプローチで日本の医療制度に貢献し、長期的なキャリア進展の基盤を構築することができます。

2. 活動目的

主要目的

日本の医療業界専門家との体系的な協力を通じて、インドネシア労働者に対する認識と処遇を一時的労働力から価値ある専門職へと変革する人的資源パートナーシップの枠組みを構築する。

具体的目的

1. **専門標準の設定**：日本におけるインドネシア医療従事者の包括的専門統合基準の開発
 2. **インドネシア候補者への具体的支援**：技能訓練、医療機器（車椅子、医療用ベッドなど）、専門開発インフラという形での日本パートナーからの具体的コミットメントの獲得
 3. **戦略的パートナーシップ構築**：日本医療企業コンソーシアムとの長期パートナーシップコミットメントの正式化
 4. **業界横断テンプレート**：製造業、技術、社会サービス部門に適応可能な方法論の創出
-

3. 対象と利益

インドネシアへの利益

- **専門価値の向上**：日本の訓練と技術による技能向上を通じて、インドネシア労働者はより高い価値と優れた国際競争力を持つ
- **日本での最適パフォーマンス**：向上した技能により、インドネシア専門職はより高い基準で働き、日本の職場環境で最大の貢献を果たすことができる
- **持続可能なキャリアパス**：体系的技能開発により、日本医療業界での昇進と指導的地位の機会が創出される
- **知識移転**：インドネシアの教育基準向上のための日本の医療技術と方法論へのアクセス

日本への利益

- **高技能候補者へのアクセス**：日本の基準と技術で訓練されたインドネシア専門職の獲得により、初日から最適パフォーマンスを提供

- **優れたサービス品質：** 文化的共感と組み合わせられた高技能インドネシア専門職により、より良い医療サービス基準を実現
 - **人的資源投資の効率性：** 訓練済み候補者により、研修とオリエンテーション費用を削減し、技能不適合のリスクを最小化
 - **長期安定性：** 高技能専門職はより大きなコミットメントと忠誠心を持ち、離職率と再採用費用を削減
-

4. 開催日時・場所

日程： 9月15日

時間： 10:00-12:00（2時間）

場所： インドネシアパビリオン、2025年大阪万博

形式： 36名参加者による円卓討議

5. 参加者とステークホルダー

インドネシア側

KawanStudy:

- ムハマド・アンシャル・サフリ
- フィルマン・ザヘンドラ

政府代表:

- 国家開発企画省/BAPPENAS
- 在東京インドネシア大使館教育文化参事官

日本側 - 医療コンソーシアム（積極的貢献者）

1. リバティ株式会社（介護・リハビリテーション）

- 山口氏（代表取締役）
- 山脇氏（取締役）
- 貢献： 介護・リハビリテーション訓練プロトコル、高齢者ケア基準

- ウェブサイト： <https://www.liberty-fukuoka.jp/>

2. 長吉株式会社（介護、医療機器レンタル）

- 長吉氏（代表取締役、登録支援機関開発者）
- 板井氏（運営取締役）
- オリビア（国際関係）
- 貢献： 医療技術基準、高齢者機器、介護システム
- ウェブサイト： <https://www.nagayoshi.info/>

3. 飯塚病院（病院、健康診断）

- 高宮氏（外国人労働者管理責任者）
- 貢献： 国際医療従事者管理システム、文化統合プロトコル
- ウェブサイト： <https://aih-net.com/>

4. 回復本舗株式会社（介護、高齢者機器）

- 眞田氏（代表取締役）
- 貢献： 移動補助機器基準、技能実習生専門パス、訓練施設用車椅子提供
- ウェブサイト： <https://www.kaifukuhonpo.com/>

5. シーホネンス株式会社（医療機器製造）

- 増本氏（代表取締役）
- チーム（2名代表）
- 貢献： 病院用ベッド製造、インドネシア訓練施設用医療機器提供
- ウェブサイト： <https://seahonence.co.jp/hp/english/index.html>

6. ビーウェル株式会社（労働力・事業開発）

- 大亀氏（代表取締役）
- 貢献： 韓国・日本高レベル人材パイプラインの実証済み方法論
- ウェブサイト： <https://bwell.jp/>

7. 技術・ソフトウェア：パレット株式会社

- 業界： IT、スタートアップ、Eコマース

- 干場氏（代表取締役）

- ウェブサイト： <https://corp-palette.com/>

8. ブンブ・ジャパン株式会社

- 業界： ソフトウェア・モバイルアプリ開発、人工知能

- 大輝氏（日本支社代表取締役）

- ウェブサイト： <https://www.bunbusoft.com/>

9. 社会サービス・ケア：レジリエンス合同会社

- 業界： 介護（在宅ケア、高齢者介護）

- 増田氏（代表取締役）

- ウェブサイト： <https://resilience1118.com/>

10. ソーシャルアクション合同会社

- 業界： 介護（介護、リハビリテーション、デイケア）

- 崎濱氏（代表取締役）

- ウェブサイト： <https://www.social-action.group/>

11. 光一ホールディングス株式会社

- 業界： 介護（訪問看護ステーション・精神科）

- 久保田氏（代表取締役）

- ウェブサイト： <https://aiasu.co.jp/company>

12. 教育・人材開発：伊勢学院NPO

- 業界： 教育

- みみ先生（理事）

- ウェブサイト： <https://www.kodomo-ise.org/>

13. 晴れ晴れ株式会社

- 業界： 労働力

- 大沢氏（代表取締役）

- ウェブサイト： <https://harehare-corp.com/>

14. IKKホールディングス株式会社

- 業界： ウェディング、介護、飲食、写真撮影
- 中島氏（代表取締役）
- ウェブサイト： <https://www.ikk-grp.jp/index.html>

15. アークスタッフ株式会社

- 業界： 建設・土木
- 岡田氏（取締役）
- ウェブサイト： <https://www.ark-staff.com/>

6. 活動アジェンダ

時間	活動	時間	テーマ・発表者	発表内容
9:45-10:00	到着・歓迎	15分	ホスト受付 (KawanStudyチーム)	歓迎ステーション、参加者確認、文化的軽食、ネットワーキング促進
10:00-10:10	開会・課題フレームワーク	10分	業界課題コンテキスト (MC - KawanStudy役員)	医療労働力危機、量から質への焦点の進化、専門開発の必要性
10:10-10:25	業界専門家の見解	15分	医療業界ニーズ (長吉氏 - 7分) インドネシア介護者ポテンシャル (山口氏 - 8分)	福祉用具業界要件、登録支援機関開発洞察、介護者としてのインドネシアの強み、文化的適合性
10:25-11:10	基準開発ワークショップ	45分	プロジェクト紹介 (KawanStudy - 3分) 協働討議 (KawanStudy司会 - 42分)	ハードウェア支援討議、パートナーシップフレームワーク開発

時間	活動	時間	テーマ・発表者	発表内容
11:10-11:20	戦略的コーヒーブレイク	10分	ネットワーキング・検証（全参加者）	プロジェクト調整、フレームワーク検証、関係強化
11:20-11:25	コミットメント正式化	5分	協力合意（全医療パートナー）	品質改善プロジェクトコミットメント、ハードウェア支援合意
11:25-11:30	実施・閉会	5分	フォローアップ計画（KawanStudy役員）	プロジェクト開発タイムライン、ハードウェア設置スケジュール

7. 期待される成果

即座の成果

- **人材パートナーシップフレームワーク文書：** 日本におけるインドネシア医療従事者統合のための包括的専門基準
- **日本パートナーからの具体的支援コミットメント：**
 - **Liberty & 長吉：** 介護・リハビリテーション技術訓練、高齢者ケアプロトコル移転
 - **シーホネンス：** インドネシア訓練施設への病院用ベッドと医療機器提供
 - **回復本舗：** 専門技能開発のための車椅子と移動補助機器提供
 - **飯塚病院：** メンターシッププログラムと国際労働者管理システム
- **専門開発システム：** 技能向上と持続可能キャリアパスの枠組み
- **業界横断方法論テンプレート：** 技術、建設、その他サービス部門への適応フレームワーク

政策・外交への影響

- **政府承認：** 二国間人材パートナーシップモデルに対する国家開発企画省と大統領スタッフ室からの公式認可

- **政策提言：** インドネシア熟練労働者配置規制改善への提言
- **二国間関係強化：** 高品質人材開発におけるインドネシア・日本協力の基盤
- **省庁間連携：** P2MI/BP2MI省、労働参事官、教育文化参事官間のシナジー

メディア・コミュニケーションへの影響

- **国内メディア報道：** 単なる安価労働者ではなく、質の高い専門労働力提供者としてのインドネシアのポジショニング
- **経済外交文書化：** 尊厳ある労働者配置におけるプラボウォ大統領政策実施の具体的証拠
- **国際出版：** 他の発展途上国のベストプラクティスとしてのインドネシア・日本パートナーシップモデル
- **教育コンテンツ：** 技能向上の重要性について潜在的労働者への啓発資料

長期戦略価値

- **インドネシア像の変革：** 安価労働者送出国から質の高い人材開発戦略パートナーへ
- **二国間パートナーシップテンプレート：** 他の先進国（韓国、シンガポール、オーストラリア）と複製可能なモデル
- **教育エコシステム強化：** インドネシア訓練機関基準向上のための日本技術・方法論移転
- **持続可能な経済影響：** 適正な報酬を伴う高技能労働者を通じた送金価値の向上

結論

このインドネシア・日本人的資源パートナーシップサミットは、質の高い尊厳ある熟練労働者配置に関する政府政策実施における戦略的ステップです。公式承認と関連省庁調整を通じた政府支援により、この活動が持続可能な二国間パートナーシップモデルとなり、両国に最適な利益をもたらすことが期待されます。

高品質人材開発における長期戦略目標の実施成功と達成を確保するため、インドネシア政府の支援が強く求められています。

提出者：

KawanStudy